

レジメン名称:パクリタキセル単独(6 投 1 休)_q7w

食道癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日 1 コース 7 週間					
		Day 1・・・8・・・15・・・22・・・29・・・36・・・43・・・50					
パクリタキセル	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓	↓

レジメンオーダー以外に必要な処方

パクリタセキル投与日：レスタミン 5錠 1× 化学療法時 1回分

注意事項

パクリタキセル：アルコール過敏の確認。アルコール含有のため、外来施行時、運転等での来院について確認、注意すること。

パクリタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

パクリタセキル初回および 4 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要

投与方法：1、8、15、22、29、36 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロック (フィルター付き) の点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす
2	レスタミン(10mg) 5錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、生食 30 mL 5 分以上かけて点滴、メインルートから投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
5	パクリタキセル _____ mg、生食 250 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与 初回および 4 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄